

LIBRARY INFORMATION ライブラリー・インフォメーション

アメリカ留学の扉をたたこう  
—アメリカの大学情報の調べ方—

アメリカの大学・大学院への留学を目指す方に向けた説明会を開きます！米国大使館・EducationUSAのアドバイザーから、英文の書籍やインターネットを用いたアメリカ留学のための情報の探し方や、アメリカの大学のウェブサイトの見方について学びます。「留学に興味はあるけれど、アメリカの大学・大学院の情報をどう調べたらいいのだろうか？」など疑問・質問のある方、お気軽に参加してみませんか？

- ★日時: 8月21日(水) 18時30分～20時(18時15分開場)
- ★講師: 米国大使館 EducationUSA アドバイザー
- ★会場: 3階ライブラリープラス ★参加費: 無料 ★定員: 15名(事前申込順)
- ★申込方法: お電話(03-3502-3343)または2階図書フロア総合カウンター

結果発表!

投票にご協力頂き、ありがとうございます！見事1位に輝いた猫作品は台東区立朝倉彫塑館で展示されます。



【原題不明(丸まって寝ている)】 【はるか】1918年頃 制作年不詳

【たま(好日)】1930年

展示期間: 2019年7月5日(金)～9月1日(日)  
展示場所: 台東区立朝倉彫塑館  
休館日等はホームページでご確認ください

日比谷カレッジ報告

朝倉文夫の猫たちと朝倉彫塑館  
～朝倉文夫の猫 AKN総選挙@日比谷、中間発表もあるにゃん～

日時: 6月7日(金) ■ 講師: 戸張泰子(台東区立朝倉彫塑館 主任研究員)

明治から昭和にわたって活躍し、彫刻家として初めて文化勲章を受章した朝倉文夫の作品と、朝倉が猫と暮らした谷中のアトリエ兼住居の朝倉彫塑館についてお話しいただきました。独自の自然観による後進の指導や、愛猫への視線、同時代の彫刻家とのエピソードなど、盛りだくさんの内容に引き込まれました。

【千代田区立図書館からのお知らせ】

夏休みの宿題もサポートします！

調べもの戦隊  
レファレンジャー

本探しの助っ人「調べもの戦隊 レファレンジャー」が、今年も千代田図書館と四番町図書館にやってきます！自由研究や読書感想文用の本など、夏休みの宿題に役立つ本をレファレンジャーと一緒に探します。(予約不要・無料)

展示 PICK UP

■3Fグリーンゾーン【哲学・歴史・自然科学】の本を集めたフロア ～10/18(金)

食—令和ver.— 「食べることは生きること」健康志向が高まっている現代、みなさんはどんな食生活を送っていますか？今回の展示はライフスタイルの多様化と食の関係に着目し、フードロスといった食の社会問題などについても考えます。食を扱った新聞を紹介しているコーナーもあります。また、「懐かしい味・思い出の味」のアンケートを展示内で実施していますのでぜひご参加ください。



『夫婦ふたりのシニアごはん』城川朝 著 講談社 2014年

『名画の中の料理』メアリー・アン・カウス 著 富原まさ江 翻訳 エクスナレッジ 2018年

■3Fエレベーターホール【ガラスケース】 ～8/31(土)

日比谷カレッジ関連展示「平野啓一郎が語る、平野啓一郎—20年の作家生活とその作品群—」

2018年に作家生活20周年を迎えた平野啓一郎氏にまつわる貴重な資料の数々を展示しています。執筆のための調べ物のメモや手描きのイラスト、作品内での時間の経過を記したカレンダー、そして実際に使用していたワープロなど、平野氏の創作活動の礎を知る手がかりが凝縮された展示です。ぜひお近くでじっくりとご覧ください。

EXHIBIT INFORMATION 8月の展示情報 ※展示情報は変更する場合がございます。

- 2F パープルゾーン 「改」(~9/13)  
新元号「令和」が始まり、はや3か月。江戸から東京へと大転換した明治維新、関東大震災から復興するための新たな都市計画、1964年東京オリンピックを含む高度経済成長、そして再び迎えるオリンピックイヤーに向け、東京がどのように変化しつつあるのかを軸に、政治経済や文化についても「改」をキーワードに資料を集めました。
- 3F ブルゾーン 「比(くらべる)」(~8/16)  
過去と未来、朝と夜など対になる二つのものを様々な角度から比べました。その両方を比較することで、常識や思い込みにはとられない「新たな視点」のヒントが生まれるかもしれません。

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

◆令和元年度文化財ミニ企画展

# 大日本橋川と大名屋敷

新発見・一橋徳川家屋敷跡

徳川將軍家を支えた御三卿は8代將軍・吉宗の子や孫を始祖として創設され、それぞれの屋敷の所在地付近にあった城門の名前にちなんで、田安、一橋、清水と呼ばれました。このうち一橋徳川家の屋敷は、一ツ橋門内にあったことが知られていましたが、明治期以降、軍用地などとして開発が進んだことから、これまで本格的な発掘調査の機会はありませんでした。平成29年に初めて実施された発掘調査では、庭園の池や堀の遺構がみつき、日本橋川と江戸城内堀に挟まれた屋敷地の様子の一部が明らかになりました。

本展示では、最新の発掘成果とともに、日本橋川周辺に立ち並んだ大名屋敷や町と水辺との関わりについて紹介します。

開催中 ~ 8/25(日)

※休館日: 8月19日(月)

開室時間: 月~木曜、土曜 10:00~19:00  
金曜 10:00~20:00  
日曜・祝日 10:00~17:00

会場: 日比谷図書文化館 1階 特別展示室  
入場無料

■展示解説  
8月2日(金)、8月7日(水)、8月21日(水)  
いずれも18時~ 事前申し込み不要、参加費無料、30分程度



- I 新発見・一橋徳川家屋敷跡
- II 大名屋敷の水辺空間
- III 日本橋川の役割

calendar 開館時間: 平日10時~22時 ■ 土曜10時~19時 ■ 日祝10時~17時 ■ 休館日

2019年8月							2019年9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
25	26	27	28	29	30	31	29	30					

■お問合せ先: 千代田区立日比谷図書文化館 〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4  
TEL: 施設代表 03-3502-3340 図書総合カウンター 03-3502-3343 URL: https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/

access

- 〔都営地下鉄〕
- 三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分
- 〔東京メトロ〕
- 丸ノ内線
- 日比谷線
- 「霞ヶ関駅」B2出口 徒歩3分
- 千代田線
- 「霞ヶ関駅」C4出口 徒歩3分
- JR「新橋駅」徒歩10分

※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

# 8・9月の講座

〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはホームページにて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、**当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。**

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

## 8/20 (火) 令和の日本経済 ー人口減少と経済成長ー

講師:吉川 洋(立正大学長)

人口減少が進み、働き手が減っていく日本。財政赤字は拡大の一途をたどり地方は消滅の危機がある。もはや衰退は不可避ではないか。そんな閉塞感が日本を覆っている。それに対し長く人口問題と格闘してきた経済学は否と答える。先進国の経済成長を握るのは何か。日本経済の真の課題について考える。



■日時:8月20日(火)19:00~20:30(18:30開場)  
■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
■定員:200名 ■参加費:1000円

## 8/21 (水) 星をたずねて・彗星

講師:皆川 敏春(星のソムリエ®みたか) 北崎 直子(星のソムリエ®みたか)

夜空に忽然と現れる彗星。太古より流星と共に災いと恐怖をもたらすとして忌み嫌われていた存在。ハレーの時代から、コメットハンターに狙われ科学の対象として扱われると、一転、天文界の華やかな存在に位置づけられるようになりました。今宵、星のソムリエとその歴史や正体をたずねる旅に出ましょう。



「ヘール・ボップ彗星」 撮影:皆川 敏春氏

■日時:8月21日(水)19:00~21:00(18:30開場)  
■会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員:60名 ■参加費:1000円

## 8/30 (金) 展覧会への入口講座Vol.28 千代田区内ミュージアム連携企画 没後90年記念 岸田劉生展 こんなところがスゴイ!

講師:田中 晴子(東京ステーションギャラリー学芸室長)

「天才」とも「非凡人」ともいわれた岸田劉生(1891-1929)は、日本の近代美術の歴史において独創的な絵画の道を歩んだ孤高の存在です。そして、同時代の画家たちへも強い影響を与えました。講座では、「没後90年記念 岸田劉生展」の見どころや、代表作の生まれた背景などをご紹介します。

■日時:8月30日(金)19:00~20:30(18:30開場)  
■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■定員:200名  
■参加費:1000円(千代田区民500円)



《麗子肖像(麗子五歳之像)》 1918年10月8日 東京国立近代美術館

## 9/2 (月) 日比谷カレッジ×高エネルギー加速器研究機構 素粒子の研究が宇宙の始まりを解き明かす

講師:多田 将(高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 准教授)

素粒子物理学はこの世で最も小さな階層を扱う学問であり、一方で宇宙物理学はこの世で最も大きな階層を扱う学問です。一見、両極端に思える素粒子と宇宙の関係からはじまり、宇宙の成り立ちや、人類が抱く究極の謎について初心者にもわかりやすくお話します。



■日時:9月2日(月)19:00~20:30(18:30開場)  
■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■定員:200名 ■参加費:1000円

## 9/3 (火) 展覧会への入口講座Vol.29 千代田区内ミュージアム連携企画 芭蕉の書の魅力

講師:金子 馨(出光美術館 学芸員)

「古池や蛙飛び込む水の音」の句で有名な俳人・松尾芭蕉(1644~1694)は、元禄2年(1689)に奥の細道の旅に出ます。今年は芭蕉が旅に出て、330年の記念の年を迎えます。これを記念して、出光美術館では「奥の細道330年 芭蕉」展を開催します。講演では書に焦点を絞り、芭蕉の書の魅力をご紹介します。



■日時:9月3日(火)19:00~20:30(18:30開場)  
■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■定員:200名 ■参加費:1000円(千代田区民500円)

## 9/4 (水) 江戸文化歴史検定×ジャパンナレッジ講演会 お江戸ルーリー文化講座⑦ 物語でたどる江戸⇔東京八景

講師:堀口 茉純(歴史作家)

2020東京オリンピック・パラリンピック開催が近づくなか、歌川広重の浮世絵「名所江戸百景」より、堀口さんが現在に伝わる物語のある「江戸⇔東京八景」を選定し、浮世絵と現在の様子を行き来しながら紹介します。東京の魅力を再発見できる90分です。(主催:株式会社 ネットアドバンス、共催:日比谷図書文化館)



■日時:9月4日(水)19:00~20:30(18:30開場)  
■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
■定員:200名 ■参加費:1000円

## 9/6 (金) 千代田区民講座 南極点単独徒歩到達の成功と冒険のリスクマネジメント ー南極点到達を目指して

講師:阿部 雅龍(極地冒険家)

「夢を追う冒険家」とは?生死に直面する極限の「リスクマネジメント」とは?今年も「夢」である同じ秋田出身の白瀬轟(のぶ)中尉のルートでの南極点到達に挑戦する「極地冒険家」の姿や想いを熱く語ります。(主催:NPO法人 神田雑学大学、共催:日比谷図書文化館)



■日時:9月6日(金)19:00~20:30(18:30開場)  
■会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員:60名 ■参加費:無料  
※8月5日(月)から千代田区民受付開始。区民以外は8月12日(月・祝)から受付開始。

## 9/9 (月) 心を育み脳が紡ぐ生命の進化の来し方行く末

講師:入来 篤史(理化学研究所・生命機能科学研究センター 象徴概念発達研究チーム チームリーダー)

私達の心は、臓器の一つである脳が、『成長を前提とした円環』的な進化によって手に入れた、生命現象の一つです。つまり、脳(神経ニッチ)が膨大し、知的能力(認知ニッチ)が高まり、知性で世界(環境ニッチ)を改造し、その環境に適応してまた脳が大きくなる、という『三位一体ニッチ構築』です。すると、成長を前提とした私たちの世界は、やがて行き詰まってしまうのでしょうか?一緒に考えてみたいと思います。



■日時:9月9日(月)19:00~20:30(18:30開場)  
■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
■定員:200名 ■参加費:1000円

## 9/10 (火) “「方言萌え」の時代”に至るまで 「方言」の価値の変遷をたどる

講師:田中 ゆかり(日本大学文学部教授)

2010年代も終わりを迎えようとする今日、「方言」に関する話題には事欠きません。それは、現代が「方言萌え」の時代であるからなのですが、ここに至るには、長い道のりがありました。本講座では日本語社会における「方言」の価値の変遷を、言語政策やメディアとの関連からたどります。



撮影:浅野カズヤ

■日時:9月10日(火)19:00~20:30(18:30開場)  
■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)  
■定員:60名 ■参加費:1000円

## 9/12 (木) 知られざるユーモア大国キューバ ーハバナ国際漫画大会に招かれて

講師:小野 耕世(漫画評論家)

1979年のユーモア美術館の開設以来、キューバでは隔年で国際マンガ・コンテストが催されてきた。ハバナ創立500周年の今年、とりわけ盛大なお祭り騒ぎとなったこのイベントに国際審査員のひとりとして招かれた私は、キューバの最新のアート状況と急展開するアメリカとの関係などについて語りたい。



■日時:9月12日(木)19:00~20:30(18:30開場)  
■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)  
■定員:60名 ■参加費:1000円

## 9/18 (水) 江戸歴史講座第62回 夏草の夢 ー『おくのほそ道』高館(たかだち)

講師:深沢 眞二(和光大学教授)

芭蕉が『おくのほそ道』の高館の章で、源義経らの往時を懐古して詠んだ「夏草や兵(つはもの)どもが夢の跡」。この「夢」とは何だろうか。従来の諸説を確認しつつ、近年の「夢」研究の成果をもとに「兵どもの夢」の新たな解釈を試みる。

■日時:9月18日(水)19:00~20:30(18:30開場)  
■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■定員:200名  
■参加費:1000円(千代田区民 500円)



「高館義経堂(たかだちぎけいどう)」 (写真提供:毛越寺)

特別研究室企画展示

## 100年後も手に取れる本に ~内田嘉吉文庫修復報告2019~

▶~9月30日(月)まで開催中



『Ten Weeks in Japan』 (George (Bishop of Victoria) Smith 著 /1861年)

2018年度に行なった内田嘉吉文庫蔵書の修復記録と修復を終えた本を展示し、長く使い続けるための工夫を凝らした本の修復を紹介します。今回は大型の洋書や和本、絵図など、修復した資料のジャンルのジャンルがこれまで以上に多岐にわたっています。資料としての機能を回復させ、100年活用することのできる修復とはどのようなものか、実物と修復作業の記録パネルをご覧ください。

※関連講座は9月に開催の予定です。詳細が決まり次第ホームページにてお知らせしますのでご覧ください。

Let's Enjoy The Summer!

## 【日比谷でタピオカ!】

今 大人気のタピオカドリンク。この夏、1階Library Shop & Cafe Hibiyaには3種類のタピオカドリンクがラインナップ!まず、つぶつぶ苺とミルクの組合せが相性抜群「つぶつぶいちごミルク」、夏のフルーツといえばスイカ!そこにストロベリーをあわせて「すいか&ストロベリー」、飲むだけで南国気分が味わえちゃう?!濃厚なマンゴージュースとミルクの「マンゴーミルク」です。う〜ん、どれにしようか迷っちゃう。お気に入りの組み合わせを見つけて、日比谷でタピオカを召し上がれ!



## 【夏のおもてなし~打ち水~】



打ち水は、夏の暑さを和らげるだけでなく、訪れた人を心地よく迎えるために「清める」という日本のおもてなしの心があらわれた風習です。日比谷地区では、17施設が参加して「エンタの街 日比谷 打ち水月間」を行っています。日比谷図書文化館も8月30日(金)までの平日夕方(雨天中止)に打ち水を行い、ご来館の皆さまをお迎えます。